



・部長就任のご挨拶

形成外科 部長 山下 修二 (やました しゅうじ)

2022年5月1日付で川崎医科大学形成外科学教授ならびに同附属病院形成外科部長を拝命しましたので謹んでご挨拶申し上げます。

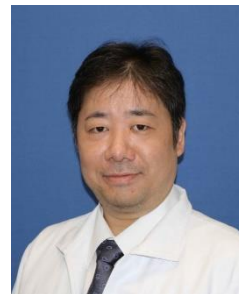
私は、2001年に岡山大学を卒業し、岡山大学形成外科教室に入局しました。その後は岡山大学及びその関連施設で主に再建外科に従事し研鑽を積んでおります。2011年にはMD Anderson Cancer Center (Texas, USA)の形成外科でリンパ管の解剖研究に従事しました。

2014年より東京大学形成外科で多くの再建手術に取り組んでいます。

マイクロサージャリー(微小血管吻合術)を駆使した再建手術は、主に、キャンサーサバイバーのQOLを機能的にも整容的にも向上するために行われてきました。代表的なものに乳癌に対する乳房再建や頭頸部癌に対する頭頸部再建があります。この技術は、四肢の外傷にも応用され、切断指など一度切断された組織の血管を吻合することで再び接合することができます。また、糖尿病性足壊疽や重症虚血肢などの難治性潰瘍に対する下肢救済手術も、この技術を導入することで治療効果が飛躍的に向上しています。国内外のトピックでもあるリンパ浮腫の外科治療についても、リンパ管吻合術とリンパ節移植術を行える国内では数少ない施設となっています。このように再建手術の守備範囲は広く様々な先端的医療に取り組んでいます。

顔面領域の形成術では、頭頸部再建後の2次修正や顔面神経麻痺に対し、皮弁移植、筋肉移植、神経移植を駆使しながら顔面の形態の回復のみならず機能的な再建も行っています。また、昨今需要が高まっている高齢者に多い眼瞼下垂に対しても積極的な治療を行っています。小児形成についても当科の歴史は古く、特に唇裂口蓋裂のチーム医療は当科の強みと言えます。

生まれ育った故郷の岡山で再び地域医療に貢献できることに大きな喜びを感じております。教室員一同、引き続き地域の皆様に品質の高い医療を届けられるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



・お知らせ

学園創立記念日休診日:2022年6月1日(水)

※6/1は学園創立記念日のため休診させていただきます。
ご迷惑をおかけし申し訳ありませんがよろしく願いいたします。
なお、救急外来は24時間対応しております。

病院理念

- 1.医療は患者のためにある
- 2.すべての患者に対する深い人間愛を持つ
- 3.24時間いつでも診療を行う
- 4.先進的かつ高度な医療・教育・研究を行う
- 5.地域の医療福祉の向上と医療人の育成を行う

〒701-0192 倉敷市松島577
川崎医科大学附属病院 地域医療連携室
TEL <直通> 086-464-1567
<代表> 086-462-1111
(内線: 22611・22613)
FAX <直通> 086-464-1166